

「松山の授業モデル」とICT活用（家庭科、技術・家庭科〔家庭分野〕）

学習場面 (松山の授業モデル)	ICT活用例
<p>■ 学習課題の設定</p> <p>習得・活用・探究</p>	<p>生活を見つめ、生活の中から問題を見だし、課題を設定し、学習の見通しをもつ場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材の導入で、生活場面の事象を映像化して用いることにより、「何が課題なのか」を見付けたり、「なぜ、そのようにするのか」について考えたりして、学習への興味・関心を高め、意欲的に取り組むことができる。例えば、身近な幼児と幼児に関わる人々の様子や幼稚園や保育所、認定こども園などでの幼児の様子を映像で見せたりすることにより（A1）、幼児の発達と生活の特徴、幼児にとっての遊びの意義や幼児への関わり方への関心や課題意識を持たせ、課題の設定へとつなげることができる。
<p>■ 交流し考える学習</p> <p>交流・表現・体験</p>	<p>知識及び技能を習得し、解決方法を検討する場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拡大・動画等の機能を活用することにより、学習内容の基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図ることができる（A1）。例えば、調理や製作の示範で実物投影機や動画資料を用いることにより、教師の細かな手の動きが拡大され、生徒は、そのポイントを明確につかむことができる。 ・玉結びの仕方やまつり縫いの工程をタブレット型の学習者用コンピュータを用いて動画で確認することで、自分の玉結びやまつり縫いと比べてどこが違うのかを考え、何度も確認しながら練習し、基礎的・基本的な技能の習得を図ることができる（B1）。基礎的・基本的な技能の習得に課題がある場合には、小学校で学習した「ミシンの上糸や下糸のかけ方」「包丁での材料の切り方」などの動画を用いることにより、その確実な習得を図ることもできる（B1）。 ・実験、実習等で活用することにより、実感を伴った科学的な理解を深めることができる。例えば、電気洗濯機を用いた実習における、洗濯機の水流の強弱による汚れの落ち方や布の収縮、洗剤の働きなどについてデジタル教材を活用し、可視化することで科学的に理解することができ、解決方法の検討につながる（B3）。観察、実験・実習等の結果を図表やグラフ、写真などを用いてまとめ、発表することにより、考えを共有することができる（C1）。
	<p>解決の見通しをもち、計画を立てる場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理や製作、献立作成など、児童・生徒が各自の課題に取り組む際、デジタル教材等を活用することが考えられる。例えば、作りたい袋や衣服等の再利用の方法など布を無駄なく使う方法や作り方についてインターネットで情報を収集して製作計画を立てたり（B2）、献立作成ソフトウェアを活用して一食分または一日分の献立の栄養バランスを検討したりすることが考えられる（B3）。 

<p>■ 交流し考える学習</p> <p>交流・表現・体験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師がそれらをタブレット型の学習者用コンピュータで撮影し、大型提示装置に映して共有し、自分の計画や献立と比較し見直すことが考えられる (C1)。  <p>課題解決に向けた調理・製作等の実践活動を行う場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理や製作の過程では、「切り方」「煮る、焼く、蒸す等の火加減の調節の仕方」「縫い方」の動画を活用することにより、一人一人の理解やつまずきの状況に応じた学びを進めることができ、児童・生徒の知識・技能の定着につながる。また、一人一人が異なる物を製作したり、調理したりする場合、児童・生徒の技能や進度に応じた学習を進める上で有効である (B1)。 ・実践活動においては、注目したいプロセスや完成した作品・料理などを動画や写真として撮影し、それを振り返りに活用したり、作品集やレシピ集の資料としたりすることが考えられる (C1、C3)。
<p>■ 学習の振り返り</p> <p>内容×方法</p>	<p>実践活動を振り返り、評価・改善する場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット型の学習者用コンピュータを用いて児童・生徒同士がペアやグループで友達の調理や製作等の様子を撮影し合い、自らの調理や製作等について振り返り、次の課題を見付けたり、繰り返し再現して適切な技能を身に付けたりすることができる。また、友達の調理や製作等の工夫を大画面で共有し、自分の調理や製作等に生かすことができる。なぜ、そのように評価したのか、相互評価の根拠としても活用することが考えられる (C1)。 ・家庭や地域で実践する場面においては、家庭での実践の様子を記録・保存することができる (B2) ・家庭や地域での実践計画をグループで発表し合ったり、実践発表会をしたりする際、写真や動画等を映して互いの工夫点を学び合うことが考えられる。また、写真や動画等を用いることで、考察したことを根拠や理由を明確にして説明したり、発表したりすることができる (C1、B3)。